

■開催日時

平成 25 年 10 月 9 日（水）10：00～17：00

■開催場所・聴講内容

ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）第三ホール

No. 2 ものづくりの変革を迫る 3D プリンタ

10：30～ 3D プリンタの可能性～デザイン検証、鋳造、フィギュアまで～

東朋テクノロジー(株) 産業システム部産業システム課主任 駒野谷 直志 氏

11：00～ 三次元積層造形の応用、宝飾・歯科など高精細精密造形への展開

山形大学工学部有機エレクトロニクス研究センター客員教授 萩原 恒夫 氏

11：30～ EZ Microwave Moulding～3D プリンタによるゴム型を用いた熱可塑性樹脂の成形～

(株)ディーメック光成形テクニカルセンター 光成形統括 栗原 文夫 氏

12：00～ 熱溶解積層方式とインクジェット方式が提案する 3D プリンタの未来

アルテック(株) 産業機械本部 デジタルプリンタ事業部 3D プリンタ営業部 岩本 晃輔 氏

No. 9 第 6 回 素形材新技術交流シンポジウム 3D 造形が作る新しい世界

13：30～ Additive Manufacturing 技術の現状と今後の動向

東京大学 生産技術研究所 教授 新野 俊樹 氏

14：30～ 3D プリンティングにおけるレーザー焼結型 AM 装置の位置づけ

～レーザー焼結型積層造形装置によるアディティブマニュファクチャリングについて～

(株)NTT データエンジニアリングシステムズ 前田 寿彦 氏

15：00～ 最新 3D プリンタ事情 ～3D プリンタの造形方法、製品ラインナップと導入事例をご紹介～

(株)スリーディー・システムズ・ジャパン 小林 広美 氏

15：30～ AM (3D プリンター)技術の背景と課題、そして日本での取り組み

(株)アスペクト 早野 誠治 氏

■所感

今回の聴講は、来年度公開講座で 3D プリンタを扱うにあたり、3D プリンタの動向を勉強することを目的として参加した。多くのプレゼンテーションを聴講した結果、公開講座で取り扱いたい内容が明確になってきたので今回の聴講は有意義であった。3D プリンタは、2009 年に ASTM で定義された Additive Manufacturing (以降 AM 法) と呼ばれる加工法に分類されているが、製造業界では AM 法という言い方が頻繁に行われており、今後 AM 法というキーワードが安価な 3D プリンタと区別されて使用されていくように感じた。公演が盛況で時間が予定よりも長引き、展示物をじっくり見学できる時間が無かった事と、会場内は撮影禁止であった事が残念であった。